









県内経済は、緩やかな持ち直しの動きが続いているが、一部に弱い動きがあり、先行きに不透明感がみられる。

1. 県内経済動向 (2023年9月の統計資料などを基に取りまとめたものです。)

項目	今月の動向	景況判断	
		変化方向	水準
県内経済の景況	百貨店・スーパー、コンビニエンスストア、ドラッグストア、乗用車販売などの消費動向は引き続き前年を上回り、個人消費を中心に全体では緩やかな持ち直しの動きが続く。一方、公共投資や設備投資など一部に弱い動きがあり、物価上昇や原油・原材料価格高騰の影響に注視する必要もあるなど、先行きに不透明感がみられる。		
消費動向	消費動向は、百貨店・スーパー、コンビニエンスストア、ドラッグストアがいずれも前年を上回った。乗用車販売台数は半導体不足の緩和から新車・中古車ともに前年を上回り、合計では9カ月連続で前年比増加した。新車では普通車・小型車が前年を10%以上上回っている。		
公共投資	公共投資は、公共工事前払保証請負金額が4カ月連続で前年を下回っている。特定復興再生拠点区域関連などの環境省発注工事、日本原子力研究開発機構の設備工事など、前年に大規模な発注がみられた部門での減少が目立っている。		
設備投資	民間非居住用建築着工は、棟数が前年を上回る一方、床面積が前年比△41.3%、工事費予定額が同△39.3%と前年を大きく下回った。工事費予定額を用途別にみると、「教育・学習支援業用」や「卸売業・小売業用」など一部では前年比増加したが、多くの分野で前年を下回る結果となっている。		
住宅投資	新設住宅着工戸数は前年比△5.2%と2カ月ぶりに前年を下回った。利用関係別にみると、「貸家」が同+24.2%と前年を上回る一方、「持家」が同△20.6%、「分譲」が同△6.4%と前年を下回った。		
生産活動	鉱工業生産指数は、季節調整済指数が92.3で前月比+1.1%となった。業種別では、「鉄鋼業」（前月比+16.4%）など9業種で上昇し、「情報通信機械工業」（同△15.7%）など10業種で低下した。		
雇用動向	有効求人倍率は季節調整値が1.36倍で前月比横ばいとなった。「サービス」（介護サービス、接客・給仕など）や「専門・技術」（建築・土木技術者、看護師・医療技術者など）といった職種では引き続き求職者が大幅に上回っている。雇用保険受給者実人員は前年比△4.6%と4カ月連続で前年を下回っている。		

注1：「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向（：改善、：不変、：悪化）を示し、当月と前月における3カ月加重移動平均の前年同期比を比較して判断。






注2：「水準」は現在における景況の水準を示し、当月の3カ月加重移動平均値と過去5年間の平均値を比較して判断しており、「変化方向」が改善または悪化の場合に、「水準」が必ず変化するわけではない。

なお、公共投資および設備投資は6カ月加重移動平均値による判断。

注3：「景況判断」は、注1および注2の通り、中長期的な指標を基に判断しているため、「今月の動向」と異なる場合がある。

注4：鉱工業生産指数は8月データ。

注5：鉱工業生産指数の季節調整済指数、有効求人倍率の季節調整値は、月による稼働日数の違い、正月や年度末の決算などの社会慣習など、季節変動の影響を取り除くことで前月や前々月との比較を可能にしたもの。

(天気図(水準)の意味)				
				
晴れ	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨
← 良 い			悪 い →	

電子ブック版では目次記載の全ての記事をご覧いただけます。



2. 県内経済動向の概要

(1) 前年同月比

(単位：％、ポイント)

	項 目	前 年 同 月 比					
		2023年4月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
消費動向	百貨店・スーパー販売額（全店舗）	3.2	2.1	2.3	3.2	5.5	3.3
	コンビニエンスストア販売額（全店舗）	1.9	2.5	0.4	1.8	4.1	1.6
	ドラッグストア販売額（全店舗）	7.1	7.3	8.0	8.6	5.9	9.0
	乗用車販売台数	3.8	8.8	12.0	6.0	8.4	5.6
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 39.8	83.5	△ 2.5	△ 1.8	△ 42.0	△ 56.9
設備投資	建築着工工事費予定額（民間非居住用）	△ 16.8	10.6	△ 27.0	△ 24.6	45.2	△ 39.3
住宅投資	新設住宅着工戸数	△ 7.4	2.5	△ 9.2	△ 14.8	9.3	△ 5.2
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	3.3	2.3	3.7	1.8	0.8	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	0.00	△ 0.01	△ 0.01	△ 0.02	△ 0.11	△ 0.10
	雇用保険受給者実人員	△ 8.1	2.7	△ 6.1	△ 2.4	△ 6.0	△ 4.6

注1 鉱工業生産指数は原指数、有効求人倍率は原数値。Pは速報値、rは訂正値。

(2) 前月比

(単位：％、ポイント)

	項 目	前 月 比					
		2023年4月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
消費動向	百貨店・スーパー販売額（全店舗）	△ 2.5	3.8	△ 3.8	6.5	2.4	△ 10.6
	コンビニエンスストア販売額（全店舗）	△ 1.7	3.5	△ 2.7	10.3	1.3	△ 9.0
	ドラッグストア販売額（全店舗）	3.7	0.3	4.0	4.5	2.5	△ 4.1
	乗用車販売台数	△ 42.7	△ 2.3	14.4	△ 7.6	△ 8.0	16.0
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 28.5	63.2	△ 31.5	△ 8.9	△ 39.8	△ 5.1
設備投資	建築着工工事費予定額（民間非居住用）	△ 31.3	△ 35.1	16.6	5.5	20.6	△ 40.1
住宅投資	新設住宅着工戸数	20.6	△ 22.0	13.4	11.3	△ 1.4	△ 0.1
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	4.4	△ 3.6	4.8	△ 0.4	1.1	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	0.02	0.01	0.00	△ 0.01	△ 0.03	0.00
	雇用保険受給者実人員	△ 2.1	15.5	4.2	4.2	3.9	△ 6.6

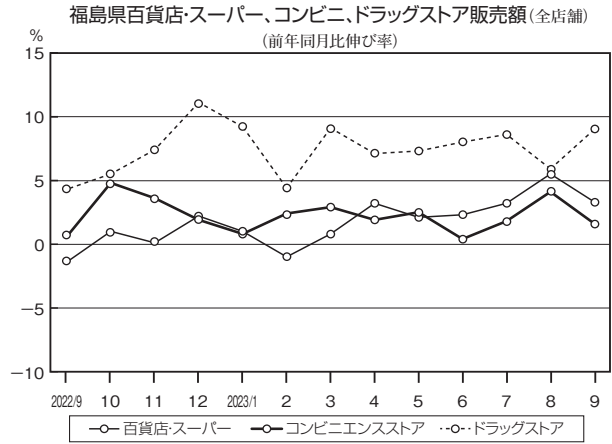
注2 鉱工業生産指数は季節調整済指数、有効求人倍率は季節調整値。Pは速報値、rは訂正値。

3. 県内経済動向

消費動向

百貨店・スーパー、コンビニ、ドラッグストアがいずれも前年比増

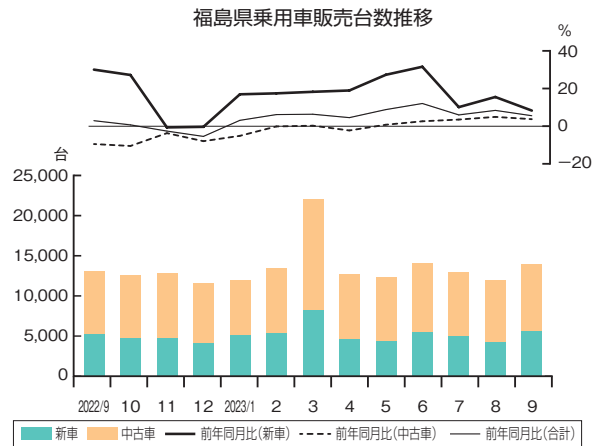
9月の県内百貨店・スーパーの販売額は224億22百万円（前年同月比+3.3%）と7カ月連続で前年を上回った。また、コンビニエンスストア（コンビニ）販売額は174億76百万円（同+1.6%）で18カ月連続、ドラッグストア販売額は107億5百万円（同+9.0%）で29カ月連続とそれぞれ前年を上回った。なお、百貨店・スーパー、コンビニ、ドラッグストアの販売額合計は506億3百万円（同+3.9%）と前年を上回った。



（資料：経済産業省）

乗用車販売：9カ月連続で前年比増

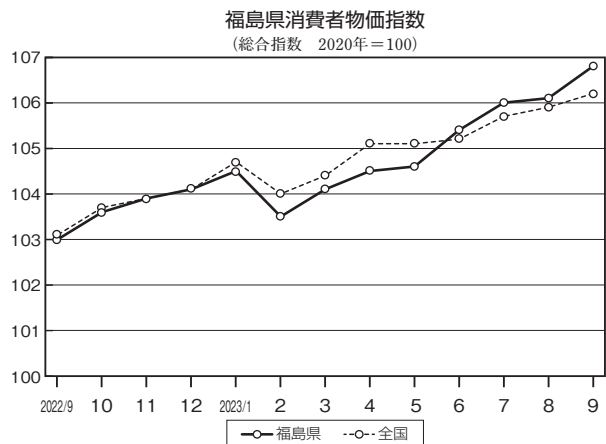
9月の乗用車販売台数をみると、新車が5,618台（前年同月比+8.3%）、中古車が8,247台（同+3.8%）、合計が13,865台（同+5.6%）となった。新車では、軽乗用車が同△1.4%と前年を下回ったものの、普通車が同+14.7%、小型車が同+16.5%と前年を上回った。



（資料：（一社）日本自動車販売協会連合会福島県支部、（一社）全国軽自動車協会連合会）

消費者物価指数：前月比・前年比ともに上昇

9月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、2020年=100）が106.8で前月比+0.7%、前年同月比+3.7%。費目別に前月比で見ると、「被服及び履物」の112.1（前月比+8.6%）など5費目で上昇し、「教養娯楽」の110.1（同△1.2%）など3費目で下降した。



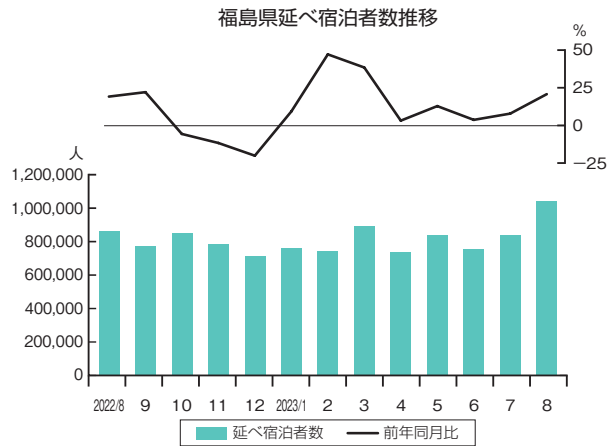
（資料：総務省統計局）

観光

※延べ宿泊者数は8月データ

延べ宿泊者数：8カ月連続で前年比増

8月の延べ宿泊者数は、1,039,530人（前年同月比+7.9%）と8カ月連続で前年を上回った。このうち、外国人延べ宿泊者数は12,830人（同+441.4%）。延べ宿泊者数が100万人を超えるのは2020年2月以来。

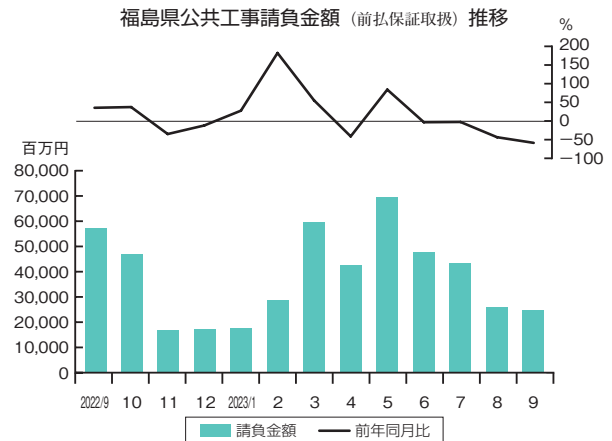


(資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」)

公共投資

公共工事：請負金額は4カ月連続で前年比減

9月の公共工事前払保証取扱は、件数が657件（前年同月比△16.6%）、請負金額が249億5百万円（同△56.9%）、保証金額が106億26百万円（同△49.9%）といずれも前年を下回った。環境省が前年同月比△129億円、日本原子力研究開発機構が同△83億円などとなっている。

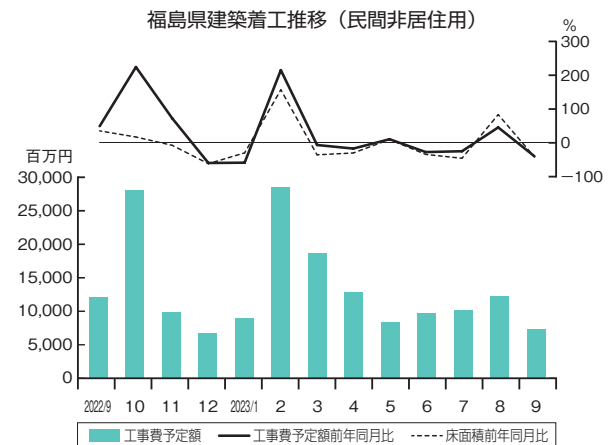


(資料：東日本建設業保証(株))

設備投資

設備投資：工事費予定額は2カ月ぶりに前年比減

9月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が153棟（前年同月比+24.4%）と前年を上回る一方、床面積が30,629㎡（同△41.3%）、工事費予定額が73億33百万円（同△39.3%）と前年を下回った。用途別にみると、「教育・学習支援業用」や「卸売業・小売業用」などが増加している。

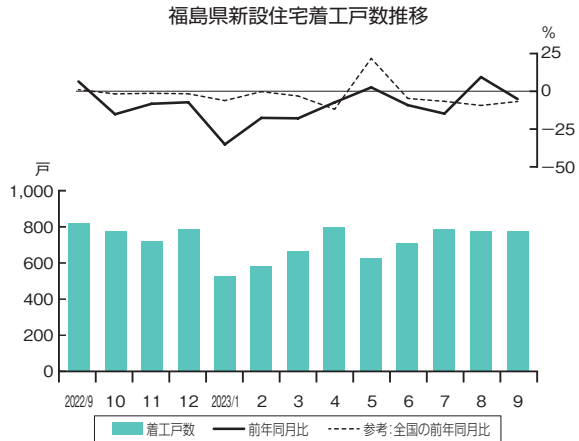


(資料：国土交通省)

住宅投資

住宅建設：2カ月ぶりに前年比減

9月の県内新設住宅着工戸数は777戸（前年同月比△5.2%）と2カ月ぶりに前年を下回った。主な利用関係別にみると、「貸家」が287戸（同+24.2%）と前年を上回る一方、「持家」が342戸（同△20.6%）、「分譲」が147戸（同△6.4%）と前年を下回った。



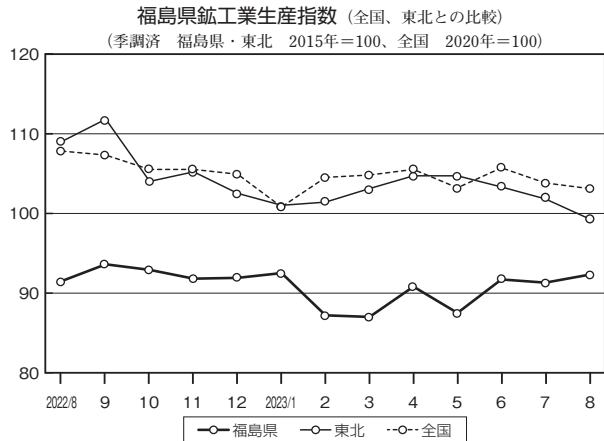
(資料：国土交通省)

生産活動

※ 鉱工業生産指数は8月データ

鉱工業生産指数：前月比・前年比ともに上昇

8月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が92.3（前月比+1.1%）、原指数が84.3（前年同月比+0.8%）となった。業種別の季節調整済指数前月比をみると、「鉄鋼業」（前月比+16.4%）など9業種で上昇し、「情報通信機械工業」（同△15.7%）など10業種で低下した。

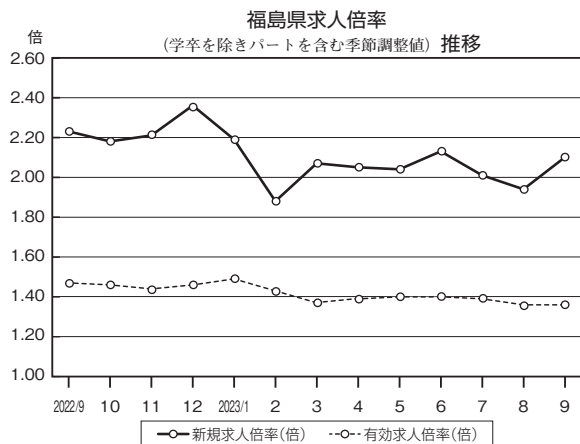


(資料：福島県企画調整部統計課)

雇用動向

雇用動向：有効求人倍率は前月比横ばい

9月の新規求人倍率は、季節調整値が2.10倍（前月比+0.16ポイント）、原数値が2.28倍（前年同月比△0.10ポイント）となり、有効求人倍率は、季節調整値が1.36倍（前月比±0ポイント）、原数値が1.38倍（前年同月比△0.10ポイント）となった。また、9月の雇用保険受給者実人員は6,424人（前年同月比△4.6%）と4カ月連続で前年を下回った。

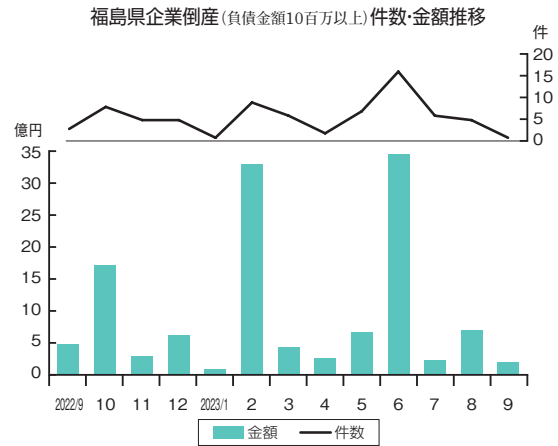


(資料：福島労働局職業安定部)

企業倒産

企業倒産：負債総額は前年比減

9月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が1件（前年同月比△66.7%）、負債総額が2億円（同△57.4%）。業種別では「サービス業」で1件となった。

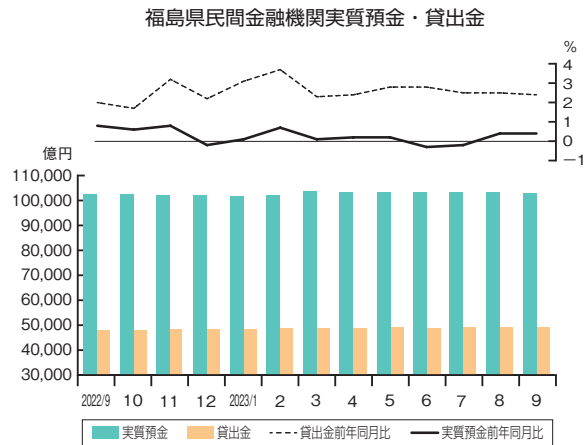


(資料：㈱帝国データバンク福島支店)

金融動向

資金需給：預金・貸出金ともに前年比増

県内金融機関（全国銀行の県内店舗分、県内8信用金庫の全店舗分）の9月末の実質預金残高は10兆3,207億円（前年同月比+0.4%）、貸出金残高は4兆9,030億円（同+2.4%）といずれも前年比増加。

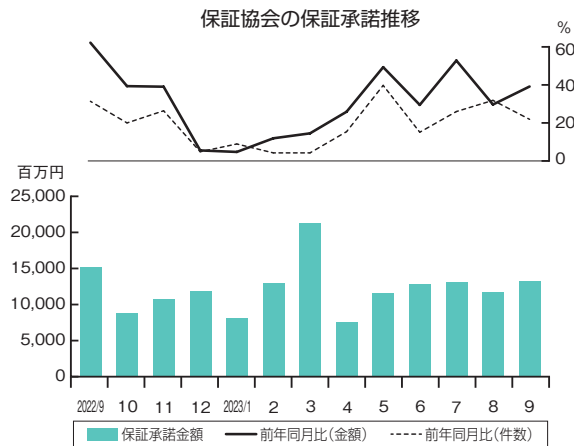


(資料：日本銀行福島支店)

※実質預金は、総預金から未決済の他店払い手形・小切手類の合計金額を控除したもの。

保証協会：保証承諾は件数、金額とも前年比増

9月の保証承諾は、件数が784件（前年同月比+26.2%）、保証金額が126億82百万円（同+44.6%）。9月末日現在の保証債務残高は、件数42,504件（同△2.7%）、金額5,370億49百万円（同△4.6%）。一方、9月中の代位弁済は、件数が39件（同+50.0%）、金額が6億35百万円（同+32.1%）。



(資料：福島県信用保証協会)